

令和2年12月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「石油製品」などが減少したものの、「自動車」、「通信機」などが増加したことから、対前年同月比4.5%の増加となった。また、輸入額は「その他の採油用種子」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが減少したことから、同36.2%の減少となった。

その結果、差引額は177億円（同76.1%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	756億円	+4.5%	933億円	▲36.2%	▲177億円	▲76.1%
	13カ月ぶりの増加		18カ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸 出	増加品目	(1) 自動車	75億円	+562.9%	輸 入	増加品目	(1) その他の採油用種子	12億円	+369.6%
		(2) 通信機	23億円	43倍			(2) 非鉄金属鉱	21億円	+47.6%
		(3) 建設用・鉱山用機械	17億円	+205.9%			(3) 半導体等電子部品	10億円	+58.2%
	減少品目	(1) 石油製品	50億円	▲32.8%		減少品目	(1) 原油及び粗油	410億円	▲48.2%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	15億円	▲59.8%			(2) 液化天然ガス	218億円	▲29.2%
		(3) 自動車の部分品	45億円	▲29.7%			(3) 液化石油ガス	1億円	▲96.6%
地域別 動向	増加：西欧、大洋州 減少：アジア			地域別 動向	増加：大洋州 減少：中東、中東欧・ロシア等				

（参考）ドルレートは、104.11円（前年同月比4.4%、4.84円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。